

くらしに役立つ新聞  
しんぶん「赤旗」  
日刊—3497円  
日曜版—823円

# 新 宮 田

日本共産党  
上伊那地区委員会  
電話 72-2465  
宮田村委員会

## 四種類のプレミアム商品券発行

### 総額で一五〇〇万円余の交付金受け

### 子育て応援、福祉商品券は三月一日に

村は、国の地域住民生活等緊急支  
援プレミアム商品券事業を活用し、  
四種類の商品券を発行します。

宮田村商工会に加盟する商店等  
において共通して使用できます。  
事業内容は次の通りです。

◎一般消費者向けプレミアム商品  
券（地域消費の拡大、地域経済の  
活性化）

★三月二二日（日）発売。一万二  
〇〇〇円分の商品券を一万円で  
販売。三〇〇〇セット用意。一人  
一〇セットまで購入できる。

◎子育て応援プレミアム商品券  
（多子世帯の経済負担の軽減・生  
活支援）

★三月一日（日）発売。三人以上  
の子を有し、中学生以下の子のい  
る世帯（約二〇〇世帯を予定）  
一万二千円分の商品券を八〇〇  
〇円で販売。六〇〇セット用意。

一世帯三セットまで購入でき  
る。

◎福祉プレミアム商品券

（対象世帯支援）

★三月一日（日）発売。五〇〇  
〇円分商品券を五〇〇円で販  
売。

七〇〇セット用意。一世帯一セ  
ットのみ。

◎農業者向けプレミアム商品券

★生産者支援として、地元農産  
物、六次産業加工品など割引購  
入できるプレミアム商品券を発  
売（JAと調整後発売）。交付金

は六〇万円を使用する予定。

なお、子育て応援と福祉プレミ  
ウム商品券は対象世帯に対し、  
村が事前に申請書を送付しま  
す。

また、これら商品券の使用  
期間は六月三十日までです。

## 国保の都道府県移管案を

### 全国知事会など地方三団体が了承

### 懸念される保険料引き上げ、徴収強化

厚生労働省は十二日、市町村が運  
営する国民健康の運営を二〇一八  
年から、都道府県に移管する案を全  
国知事会、全国市長会、全国町村会  
に示し了承を得ました。

保険料不足の自治体に貸し付けな  
どを行う基金を二〇〇億円を出し  
て設置します。自治体の繰り入れを  
やめさせる狙いです。

見直し案では、都道府県が、過去  
の実績などから医療費の見込み額  
を算定し、市町村が県に納める「分  
賦金」を市町村ごとの収納率目標や  
標準保険料率も示します。市町村は  
これらを参考に保険料率を決めて  
住民から徴収し、都道府県に納付し  
ます。

厚労省は「一般会計からの繰り入  
れ解消につながる」と強調していま  
すが、国の支援額は各市町村が現在  
行っている繰入額程度のとどまっ  
ており、保険料引き下げなど抜本的  
改革には程遠い内容です。

一方国は、一五年度から低所得対  
策として毎年一七〇〇億円を投入

知事会などの合意文章には、今後  
も医療費の伸びが見込まれるとし  
て、引き続き協議していくことが盛  
り込まれています。

### 宮田村外国人住民数二・二％（一九八人）「二五年二二月末」

長野県で外国人比率が一番高い  
のは白馬村の三・七％、以下川上村、  
二・八％、南牧村二・六％、箕輪町

二・五％、諏訪市・御代田町二・四％  
南箕輪村二・三％、伊那市二・二％と  
なっています。